

高槻市長 濱田剛史様

2021年11月29日
日本共産党高槻市会議員団
団 長 中村れい子

2022年度高槻市当初予算と施策に対する要望

新型コロナによる緊急事態宣言が解除されましたが収束にはほど遠い状況です。第6波を起こさないために、無症状者を含め無料で検査を実施するなど、感染を抑え込む対策が求められます。

政府は3回目のワクチン接種とともに、5才以上の子どもへのワクチン接種にも取り組むとしています。さらに、経済状況が回復していないこともあり、持続化給付金などの継続的な給付、特例貸付制度のさらなる延長を実施するなど直接給付が必要です。

高槻市においては、3回目のプレミアム商品券の発行を来年度実施すると提案されることは評価できますが、収入が元に戻らない事業者が多く直接給付も必要です。今こそ、高槻市が市民の暮らしを守る役割を果たすことが求められています。

日本共産党高槻市会議員団と高槻・島本地区委員会は、市の2022年度予算編成と市政運営にあたり、6項目の重点要望とともに、120項目の要望をします。

重 点 要 望 新型コロナ対策と暮らしを守るために

1、新型コロナ対策の強化について

- 収入が落ち込んでいる事業者への3回目の支援金を給付すること。
- ワクチン接種ができない年齢の子どもがいる世帯に対して検査キットを無料で配布すること。

2、 子育て支援や教育の充実について

- 支援学級の児童・生徒を含めて一クラス35人以下学級にすること。
- 学校のトイレに生理用品を置くこと。

3、 国民健康保険制度について

- 保険料を値上げしないこと。
- 子どもの均等割りについては、全額免除すること。

4、 地球温暖化防止対策について

- 「気候非常事態宣言」を行い、温室効果ガス削減目標を実質ゼロにすること。
- 脱プラスチックを強化し、啓発に努めること。学校給食の使い捨てストローなど廃止すること。

5、 国に対して要望すること。

- 3回目のワクチン接種や12歳以下の子どもへの接種については丁寧に説明すること。
- 消費税を5%に減税すること。
- 75歳以上の医療費2割負担の中止を求めること。

6、 大阪府に対して要望すること。

- 新型コロナの検査を抜本的に増やすこと。
- カジノ誘致をやめること。
- 府立島本高校の継続を求めること。

1. 福祉優先都市への着実な転換を

医療などについて

- 新型コロナなどの感染症対策のために保健師の専門職の適切な指導、援助を強めること。
- 若年性アルツハイマーと診断された人への対策を強めること。
- 認知症初期集中支援チームと、耳鼻咽喉科医師会や歯科医師会との連携をとること。
- 加齢による難聴の補聴器購入の補助制度を創設すること。
- コロナ禍において子どもも含め、うつ状態や精神的に不安定な人が増えている。相談体制を強化すること。

後期高齢者医療制度について

- 保険料、一部負担金の減免制度の拡充を広域連合に働きかけること。
- 保険料滞納者の状況を十分に把握し、相談にのり、短期症を発行しないと。

介護保険制度の改善について

- 利用料の減免制度を作ること。
- 特別養護老人ホームなどの待機者の状況を常に把握をし、入所希望者へ適切な支援を行うこと。
- 樫田地区に対して、必要な介護サービスが受けられるようにすること。
- 介護労働者の実態調査を行い、処遇の改善を国に要望すること。

高齢者福祉について

- 有料老人ホーム（グループホーム含む）、サービス付き高齢者向け住宅の立ち入り調査をし、結果を公表すること。
- 認知症高齢者個人賠償責任保険事業を創設すること。
- 高齢者世帯や、障害者のごみ出し支援を実施すること。

国民健康保険について

- 低所得者の保険料独自減免制度を現行基準のまま継続すること。
- 国民健康保険の一部負担金減免制度を、年金受給者などに拡充すること。
減免期間を基本3か月、最長6か月から、必要な期間に拡大すること。
- 短期保険証・資格証明書の交付をやめること。
- 年金受給者で医療費支出など出費が増えた場合は、保険料減免の対象にすること。所得減少による減免は、所得割額だけでなく、保険料全体を対象に

すること。

- 国に対して、引き続き、国保財政への公費投入を促すこと。
- 国の保険料軽減を受けている世帯の値上げを行わないこと。
- 新型コロナに感染した場合の傷病手当を個人事業主にも支給すること。
- 18歳までの被保険者の均等割りを市の負担でゼロにすること。また、国にも求めること。

障害福祉について

- 重度障害者福祉タクシー利用券の対象になる所得基準を緩和すること。
- 施設入所の障害者へ福祉タクシー利用券を支給すること。
- 障害者世帯の住宅家賃補助制度を創設すること。
- 同行援護の通院利用について、突発的な治療に限らず、すべての通院を対象にすること。
- 65歳以上の障害者が引き続き同じ支援を受けられるようにすること。
- 障害者の作業所など施設で実施している検診に補助をすること。
- グループホームの建設を促進し、施設運営については24時間365日確実に支援が可能な報酬体系を国に要望し、高槻市独自の支援を充実すること。

保育行政と子育て支援について

- 保育士配置基準を見直し、保育士を増やすこと。
- 保育士の障害児加配などは現場の状況に応じて配置すること。
- 国基準を満たさない認可外施設は「保育の無償化」の対象としないように国に求めること。
- コロナ禍のひとり親家庭の実態把握を行い必要であれば支援を行うこと。
- 学童保育の入室を6年生まで可能にすること。

くらしと生活保護行政について

- 担当ケースが80世帯になるよう、ケースワーカーを増員すること。

消費者保護について

- 消費生活支援センターの相談員を増員し、休日・夜間の受付など相談体制を充実すること。
- 子どもたちへのSNS被害の防止についての周知、徹底を学校と家庭と共同で取り組み、相談機関を広く知らせること。
- 高齢者に特殊詐欺への注意をあらゆる場面で呼びかけ、被害の防止につとめること。

2. 自然やみどり、環境を守り、文化の息づくまちに

- 高槻の水車を生かした小水力発電にとりくむこと。
- 新幹線の騒音・振動公害については、環境基準の1日も早い達成をJRに働きかけ、市としても環境省へ改善要請を行うこと。また、在来線の環境基準(騒音・振動)を定めるよう国に要請すること。
- 企業が生産から廃棄まで一貫して責任を負い、処理困難な製品や品質の廃棄物を出さない「拡大生産者責任」の具体化を国に求め、市としても努力すること。
- 公共施設の屋根貸し制度を見直し、市民が利用できる制度にすること。また、市直営の設置も促進すること。
- 空き地を利用した太陽光発電を可能にすること。
- バイオコークス、ペレットの活用促進を進めること。
- いましろ大王の杜、今城塚古代歴史館、安満遺跡、安満宮山古墳、阿武山古墳など、遺跡、史跡を結ぶバスの運行を実施するとともに、学芸員の拡充、ガイダンス施設の充実を図ること。
- 農業を義務づけられている生産緑地周辺での開発は、営農条件に配慮した指導を行うこと。
- 市街化調整区域や農業振興地域の農地を保全するよう努力すること。
- 地産地消をさらにすすめ、特産品の育成、産直運動・朝市への援助を拡大すること。
- 高槻産木材を公共施設や社会福祉施設で積極的に利用すること。高槻材の利用促進への補助制度を創設すること。
- 山林全体を考えて保全計画を立てること。
- 山林保全のため、後継者育成などを強めること。
- 有害動物の被害防止柵の設置を計画的に進め、維持補修費用の助成をすること。
- 森林環境税を生かして山林の保全、間伐材の整備を進めること。
- 新たな公共施設などの屋根に太陽光発電を設置すること。

3. 住民の安全や健康を守り、安心して住み続けられる高槻を

災害に強いまちづくり、市民の生命や財産を守るために

- 消防職員による立ち入り調査が充分できるよう体制を充実させること。
- 河川・堤防の改修強化、水路、準用河川の清掃にとりくむこと。
- 定期的に河川の浚渫を実施するよう府に求めること。

- 土石流、地すべり、急傾斜地の崩壊など危険個所の対策工事を急ぐよう、大阪府に求めること。
- 2018年台風21号による倒木撤去後のがけ崩れなどを防ぐための、定期的な点検、対策を府に求めること。
- 山間部の過疎化対策について、住民の意見を聞きながら取り組むこと。
- マンションなどの集合住宅の耐震化促進のため、管理組合や住民へ働きかけること。
- 災害の種類ごとに避難場所を検討すること。
- 災害時の避難所となる学校体育館に冷暖房を設置すること。

快適なまちづくりのために

- 歩道のない通学路、住宅街、信号のない横断歩道での車のスピードを抑える工夫をすること。
- 歩道の段差解消や、タイルの点検を定期的実施し、歩行者安全対策や管理を強化すること。
- 公衆トイレの悪臭の予防・解消と早急に城跡公園と摂津峡公園に洋式簡易トイレを設置すること。
- 路上喫煙禁止区域を増やすこと。

住民が主人公のまちづくりのために

- マンション建設や大規模宅地などの開発行為に対して、市が業者と住民間のトラブルの調停に入ることを条例で規定すること。
- コミュニティセンターのスタッフ給与を最低賃金に合わせること。備品の維持補修や購入への支援策を拡充すること。
- 市の基本となる計画のパブリックコメントにあたって、市民への説明会の実施など、周知・説明を強化すること。
- 投票所の段差をなくす工夫をすること。
- 4か所ある期日前投票所を増設すること。
- 富田地区の歴史、文化を大切にしたまちづくりを住民といっしょに考えること。
- 富田保健センターなど、住民にかかわる機能は残すこと。
- 植木団地跡地は川添公園を拡げること活用すること。

水道事業について

- 専用水道や地下水をくみ上げている事業所に、協力金を求めること。
- 水道管の耐震化を急ぐこと。

市バス事業について

- バス停間の距離が長い路線では、新たなバス停を設置すること。
- バス路線の見直しにあたっては、住民の意見をよく聞き、計画をつくること。

4. どの子ども健やかに成長できる教育や生涯学習の充実を

安全な学校・園施設のために

- 国の小中学校の感染症対策費を学校で柔軟に使えるようにし、国に改善を求めること。
- 教職員の定期健診・産業医検診を受けやすいように改善すること、さらに、労働安全衛生委員会、またはそれに準じる組織を各校に設置すること。
- 通学路の安全確保のために、歩行帯の整備、街路灯の増設などをすすめること。
- 特別教室や体育館などにも緊急通報の体制を確立すること。
- 学校・幼稚園のトイレの洋式化をさらに推進すること。
- 幼稚園の就労支援型保育で給食を実施すること。

ゆきとどいた教育のために

- 担任のいないクラスをなくすために、週5回の市費講師を増やすこと。
- 教職員の出退勤調査の結果を分析し、長時間労働を解消する対策を検討すること。
- 教育センターで行っている不登校児童生徒支援室（エスペランサ）の常勤研究員・指導員の体制を抜本的に拡充すること。
- 発達障がいがある児童生徒への個別支援の対応を充実し、保護者などが相談できる体制を確立すること。
- 学習活動支援員を増員すること。
- スクールソーシャルワーカーを増員すること。
- 英語教育の外国語指導助手は全小中学校に1人配置すること。
- 学校給食費を無料にすること。
- 就学援助制度の所得基準を見直し、補助内容を向上させること。また、年度途中での所得の減少に対応し、受けられるようにすること。
- 市奨学金の所得基準を緩和すること。給付制奨学金を創設すること。
- 義務教育修了後や高校中退後に社会に出た若者が自立できるように、支援する仕組みをつくること。
- 1人1台のタブレットの活用で、アダルトサイト視聴・閲覧制限を児童が解除するなど、全国で想定できないトラブルが続出している。基本は学校で

の利用に留め、教育効果と弊害を十分に検証すること。

安全でおいしい学校給食のために

- 高槻産米使用の回数、年4回の米粉パンの使用回数を増やすこと。
- 輸入食材をできるだけ使用しないこと。
- 学校給食の残留農薬検査をすること。

図書館行政について

- 上牧駅前や南東部地域の図書館建設に努力すること。
- 図書購入費や資料購入費のための予算増額を図ること。
- 視聴覚資料(CD、DVD等)や団体貸出し資料の充実を図ること。
- 正規職員の司書を増やすこと。

5. 商工業の振興のために

- 倒産、廃業に追い込まれた事業者の実態調査をすること。
- 市の入札を「指名競争入札」から「一般競争入札」に変更すること。
- 公共事業は元請け責任を明確にし、二次・三次下請け等への代金未払いがないように指導すること。「公契約条例」の制定を検討すること。
- 指名業者でない小規模業者へ少額の工事発注をするために、「小規模修繕契約希望者登録制度」を発足させること。

6. 個人の尊厳とジェンダー平等のために

- ジェンダー平等や多様性を尊重した視点を取り入れ、施策の充実を図ること。
- 同姓パートナーシップ条例を制定すること。
- 生理の貧困をなくす取り組みとして、学校や公共施設のトイレに生理用品を置くこと。

7. 住民本位の財政運営で、公正・清潔・市民参加の高槻へ

- 安易な外部委託化をやめ、必要な職員体制の確保を図ること。
- 会計年度任用職員の給与額や賞与を増やすこと。
- 継続性が求められる職場や専門性が求められる職場では、正規雇用にしていくなど、雇用のあり方を見直すこと。

- 基金全体の見直しをさらに進め、何年も使ってこなかった基金については、市民サービスの向上のために利用すること。
- 学校での平和教育の充実、高槻市の戦争被害の資料などを市民に分かりやすい場所で展示すること。
- 「非核・平和都市宣言」「人権擁護都市宣言」のまちにふさわしく非核・平和・民主主義・憲法擁護の施策の具体化と実施を図ること。
- 職員研修は全体の奉仕者としての使命感を向上する内容にすること。
- 小学校にある被爆アオギリ・クスノキを平和教育に生かすこと。
- 城跡公園の再整備にあたって、工兵隊施設、平和モニュメントなどの戦跡を整備し、市民にわかりやすく充実すること。